

北海道高等学校学力向上実践事業

ベーシックモデル（外国語）

# コミュニケーション英語 I

“Communication English I”

*Materials for Students*

## はじめに 本資料の活用にあたって

### (1) 2つの目的

この教材には2つの目的があります。

- ①卒業後、グローバル社会で活躍できる英語力を身に付けること
- ②将来英語を使ってコミュニケーションすることができる基礎的・基本的な力を身に付けること

### (2) この目的の背景

この2つの目的は、皆さんを取り巻く状況と、現在、社会から求められている英語力に基づいています。日本が現在どのような状況にあり、将来活躍するであろう皆さんが、どのような力を求められているのかを理解することは、英語学習を進める上で必要なことです。

#### ア 日本を取り巻く状況

皆さんもご存じのとおり、現代社会は政治・経済をはじめ様々な分野で、グローバル化が加速度的に進んでいて、ヒト、モノ、カネが国を超えて、ますます流動する時代を迎えています。これからは、これまでのように大手企業や一部の業種だけではなく、様々な分野で英語力が求められる時代になっており、英語力の有無が企業の採用や昇進など、将来に大きな影響を与えています。また、グローバル化に伴い、異なる文化・文明との共存や国際協力の必要性も増しています。

#### イ 社会が求めている外国語能力

そんな中、グローバル社会で求められる外国語能力とは、異なる国や文化の人々と、外国語をツールとして円滑にコミュニケーションを図ることができる能力と言えます。

具体的には、

- ・円滑にコミュニケーションを図ろうとする態度
- ・相手の文化的・社会的背景を踏まえた上で、相手の意図や考えを的確に理解する能力
- ・自らの考えに理由や根拠を付け加えて論理的に説明する能力
- ・議論の中で反論したり、相手を説得できる能力

が求められているのです。

### (3) 1年次で身に付けてほしい力

次に挙げるのは、(1)の目的を踏まえて1年次のうちに、身に付けてほしい力で

す。1年間、高校での英語の授業を通して、どのくらい身に付けることができるでしょうか。

## コミュニケーション英語 I

### 1 目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

(1) 内容として、情報や考えなどを理解したり伝えたりする具体的な言語の使用場面において、次のような言語活動を英語で行う。

ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

(2) (1)の言語活動を効果的に行うために、次の点をポイントとしてあげています。

ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり、話したりすること。

イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。

※「高等学校学習指導要領解説外国語編（平成21年12月）」（文部科学省）より

### (4) 教材について

本資料で示す教材は次のとおり英語の4つの技能（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」）に分けています。

セクション	内 容
Listening	○ 英語を聞いて説明されている単語を推測する animals sports places things
Reading	○ Vocabulary Building List、Criss-Cross、言い換え表現など
Writing	○ 自分の考え・意見を理由とともに簡潔に書く 海外で勉強したいかどうか など
Speaking	○ 喜怒哀楽を表す「感情表現」を覚える

## Work Sheet Listening Section

英語の音声を聞き、その説明が示す単語を答えてください。

animals

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_

4 \_\_\_\_\_

5 \_\_\_\_\_

6 \_\_\_\_\_

sports

7 \_\_\_\_\_

8 \_\_\_\_\_

9 \_\_\_\_\_

10 \_\_\_\_\_

11 \_\_\_\_\_

Places

12 \_\_\_\_\_

13 \_\_\_\_\_

14 \_\_\_\_\_

15 \_\_\_\_\_

16 \_\_\_\_\_

Things

17 \_\_\_\_\_

18 \_\_\_\_\_

19 \_\_\_\_\_

20 \_\_\_\_\_

## 音声台本と解答

### animals

- 1 An animal with brown fur and sharp teeth, which builds dams across rivers.  
解答…… beaver
- 2 An animal like a small bear with grey fur which lives in trees and eats leaves.  
解答…… koala
- 3 A small animal with long ears and soft fur, which lives in a hole in the ground.  
解答…… rabbit
- 4 A very large, grey animal with big ears and a very long nose.  
解答…… elephant
- 5 A large, black and white animal which lives in the mountains.  
解答…… panda
- 6 An animal like a horse with black and white lines.  
解答…… zebra

### sports

- 7 A game in which two teams kick a ball and try to score goals.  
解答…… soccer
- 8 A game in which two teams use their hands to hit a ball over a high net.  
解答…… volleyball
- 9 A game in which two teams try to win points by hitting a ball and running around.  
解答…… baseball
- 10 A game in which people hit a small ball to each other over a net.  
解答…… tennis
- 11 A game in which people hit a small light kind of ball. It's like tennis.  
解答…… badminton

### Places

- 12 A place where trains stop for people to get on or off them.  
解答…… station
- 13 A place where children are taught.  
解答…… school
- 14 A place where people can borrow money or save money.  
解答…… bank
- 15 A place where many books and magazines are kept for people to read them.  
解答…… library
- 16 A place where people can buy stamps, and send letters.  
解答…… post office

### Things

- 17 A small machine that dries wet hair by blowing hot air.  
解答…… hairdryer
- 18 A thing that you wear in front of your eyes to help you see better.  
解答…… (eye)glasses
- 19 A thing for telling the time which you wear on your wrist.  
解答…… watch
- 20 A thing used for locking the door.  
解答…… key

## Work Sheet Reading Section

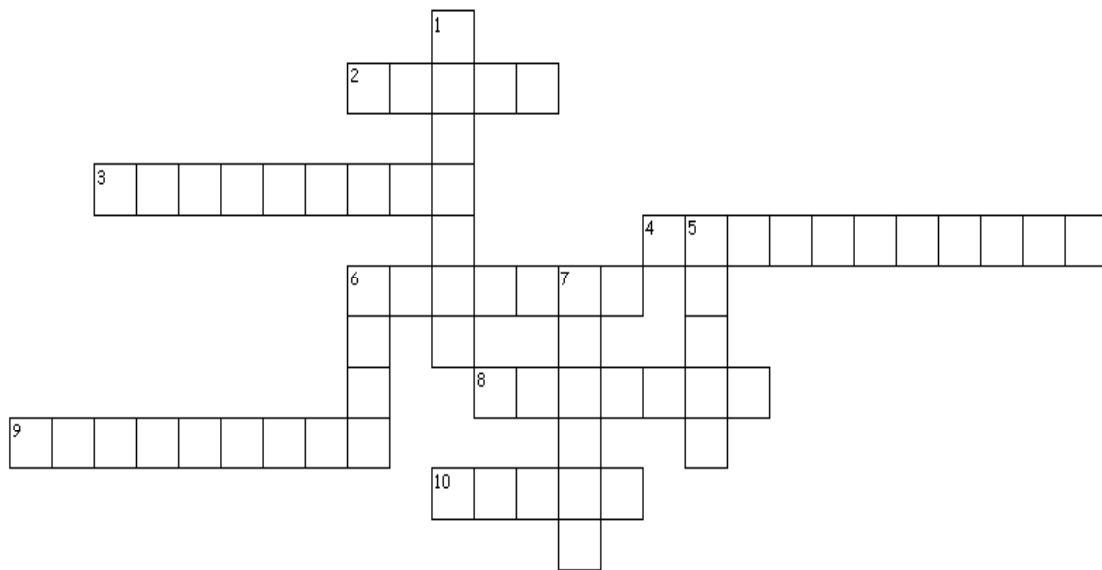
1 次の1～14の英単語の説明としてふさわしいものをア～オから記号で選びなさい。

1 Lincoln Memorial	( )	8 unequal	( )
2 elect	( )	9 Civil Rights Movement	( )
3 celebrate	( )	10 freedom	( )
4 march	( )	11 treatment	( )
5 speech	( )	12 equal	( )
6 protest	( )	13 water fountain	( )
7 past	( )	14 segregation	( )

【選択肢】

- ア a formal talk which someone gives to an audience
- イ a Greek style building in Washington D.C. which is famous for its seated figure of Lincoln
- ウ to show that an event or occasion is important by doing something special
- エ the time before the present
- オ a political activities asking for the rights that every person should have; especially the movement in the 50's to the 60's
- カ something that you do to show publicly that you think that something is wrong and unfair
- キ to walk somewhere together in order to express their ideas or to protest about something
- ク the same in size, number, amount or value
- ケ the right to do what you want without being controlled or restricted by anyone
- コ used to describe a situation or a social system which is unfair because some groups or people have more power than others
- サ the act, manner, or method of handling or dealing with someone or something
- シ when people of different races, sexes, or religions are kept apart so that they live, work, or study separately
- ス a structure from which water is pushed up into the air so that people can drink it
- セ to choose someone for an official position by voting

## 2 パズルを埋めてみよう。



### Across

- 2 to walk somewhere together in order to express their ideas or to protest about something
- 3 to show that an event or occasion is important by doing something special
- 4 when people of different races, sexes, or religions are kept apart so that they live, work, or study separately
- 6 something that you do to show publicly that you think that something is wrong and unfair
- 8 used to describe a situation or a social system which is unfair because some groups or people have more power than others
- 9 the act, manner, or method of handling or dealing with someone or something
- 10 to choose someone for an official position by voting

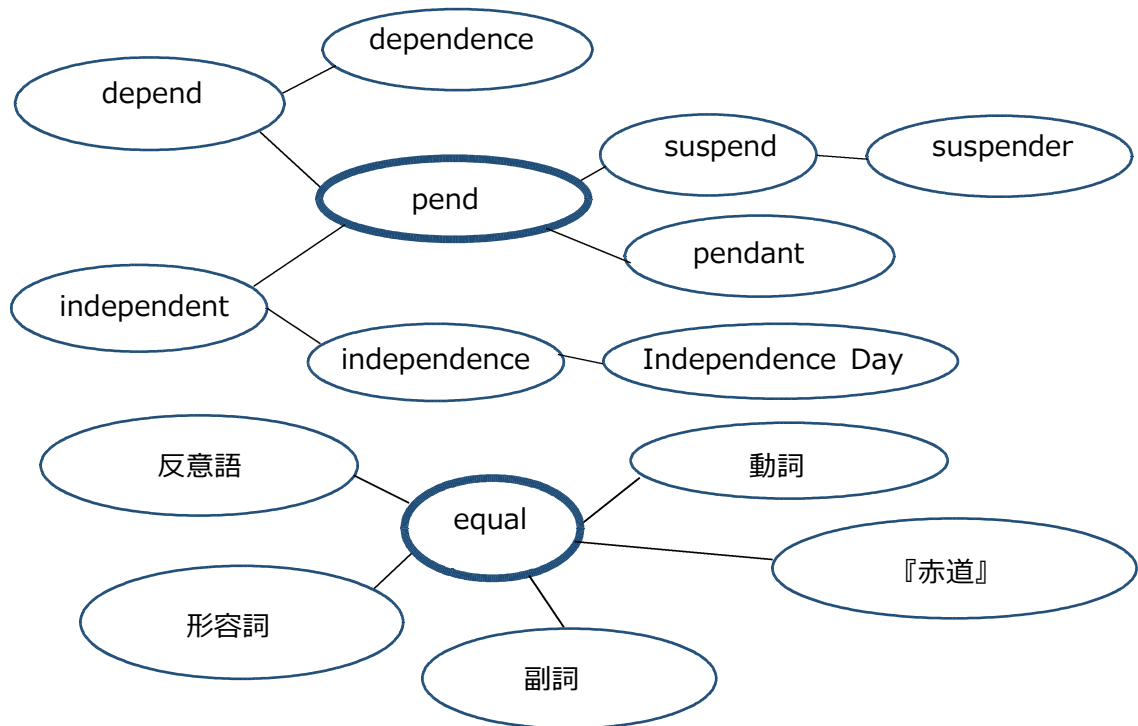
### Down

- 1 the right to do what you want without being controlled or restricted by anyone
- 5 the same in size, number, amount or value
- 6 the time before the present
- 7 a formal talk which someone gives to an audience

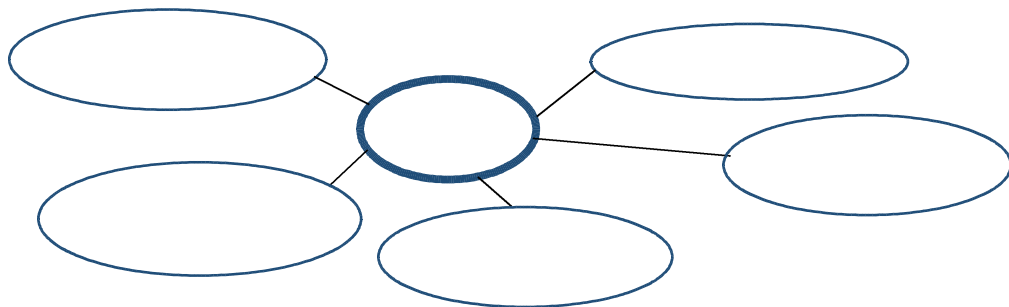


3 例を参考にして、自分で単語を一つ選び、派生語マップを作成してみよう。

(例)



(練習)



4 次の(1)～(6)の英文が同じ語になるように、空欄に適切な語を書きなさい。

(1) He runs fast.≡He is a fast runner. (副詞と形容詞)

例) My mother cooks well.≡My mother is a ( ) cook.

(2) This is inexpensive.≡This is ( ) so expensive. (単語とその否定)

(3) I'm tired because I worked hard.≡I worked hard, so I'm tired. (因果関係)

例) I didn't study. Therefore, I was scolded.

≡ I ( )( ) because I ( )( ).

(4) Sophie's parents loved her.≡Sophie was loved by her parents. (能動と受動)

例) We remember his words as a promise.≡His words ( )( )  
as a promise.

(5) Meg slipped and then her brother fell down.

≡Meg's brother fell down after she slipped. (順序)

例) My brother always brushes his teeth ( ) he goes to bed.

(6) He was absent because he was ill.

≡He was absent ( ) ( ) his illness. (句と節)

# Work Sheet Writing Section

## 1 はじめに

近年、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service、以下“SNS”と記載）など各種コミュニケーション・ツールの発達により、視覚情報の伝達手段が多様化しています。非常に便利な道具として、スマホ・タブレットを利用している高校生も年々増加傾向にあります。一方で、顔文字やスタンプなどの登場により、多種多様な感情や心境を言語外で表現することが増えたため、言いたいことを的確かつ簡潔に伝える機会が減少しているとの指摘もあります。それでは、日本の高校生は日常的にどのような文章に接しているのでしょうか。それらを、大雑把に分類すると次の通りです。

- (1) 論説（客観的に物事の是非を論じたり解説したりする文章）
- (2) 随筆（体験や読書などから得た知識をもとに筆者の主張が主観的に書かれた文章）
- (3) 小説（作者の創造力により書かれた虚構の物語）
- (4) 伝記（個人の一生が記録された物語）
- (5) 史書（歴史を記録した書物）
- (6) 日記（作者の日々の出来事を連続的に記録した文章）
- (7) 談話（日常の会話に近い文章）

授業以外で文章を読んだり書いたりするという点において、スマホ等で「談話」をしている人が最も多いのではないのでしょうか。SNSそれ自体は非常に便利な道具であり、これからの社会においては活用できることが必須となることも予想されます。確かに、ICT機器の活用による情報収集が得意な人が増えているのは喜ばしいことです。ただし、忘れてはいけないのが、進学試験や就職試験において求められることは、自分の考えを的確かつ簡潔に、しかも短時間で書き上げることです。

日本の英語教育は今、明治以来の大改革期を迎えていると言われています。今後は英語が得意な人も苦手な人も、自分が考えていることをこれまでの体験や読書などから得た知識をもとに表現する力が求められています。難しい単語や文法は、必ずしも使う必要がありません。むしろ、誰が読んでも理解できる平易かつ簡潔な文章を短時間で書き上げる能力が求められているのです。

この教材では、自分の意見を的確かつ簡潔に述べる練習をします。言い換えると、随筆の要約（60語から80語程度）と同等の英文を高校1年生までに習った表現で書く練習をします。与えられた話題に対する自分の意見を分かりやすい英語を用いて書きましょう。英文の構成は以下の通りです。

- (1) **主題文**：自分の意見
- (2) **つなぎ**：そう考える理由がいくつあるか提示
- (3) **支持文**：1つ目の理由（及び具体例など）

- (4) **支持文**：2つ目の理由（及び具体例など）  
 (5) **結び文**：まとめ（主題文の形を少し変えて表現）

以下、例題と解答例を掲載しました。実際に書く際の参考にしてください。

<例題> 海外に留学したいですか、それとも留学したくないですか。

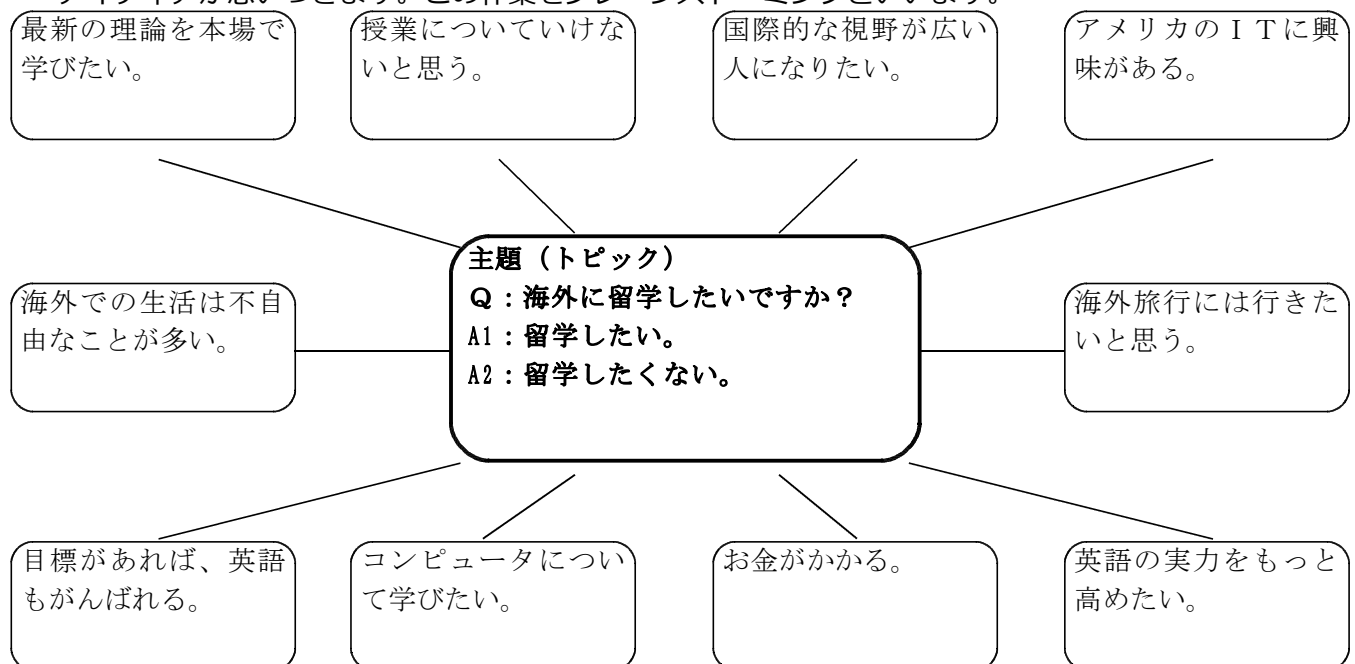
※留学する→study abroad

- (1) **主題文**：I want to study abroad after graduating from high school.  
 (2) **つなぎ**：There are two reasons for this.  
 (3) **支持文**：First, I am interested in IT and I think the best place to study computers is in the USA.  
 (4) **支持文**：Second, I will study English much harder if I keep having this dream.  
 (5) **結び文**：For these reasons, I would really like to study abroad in the near future.

## 2 自分の意見とその根拠を書き上げるまでの手順

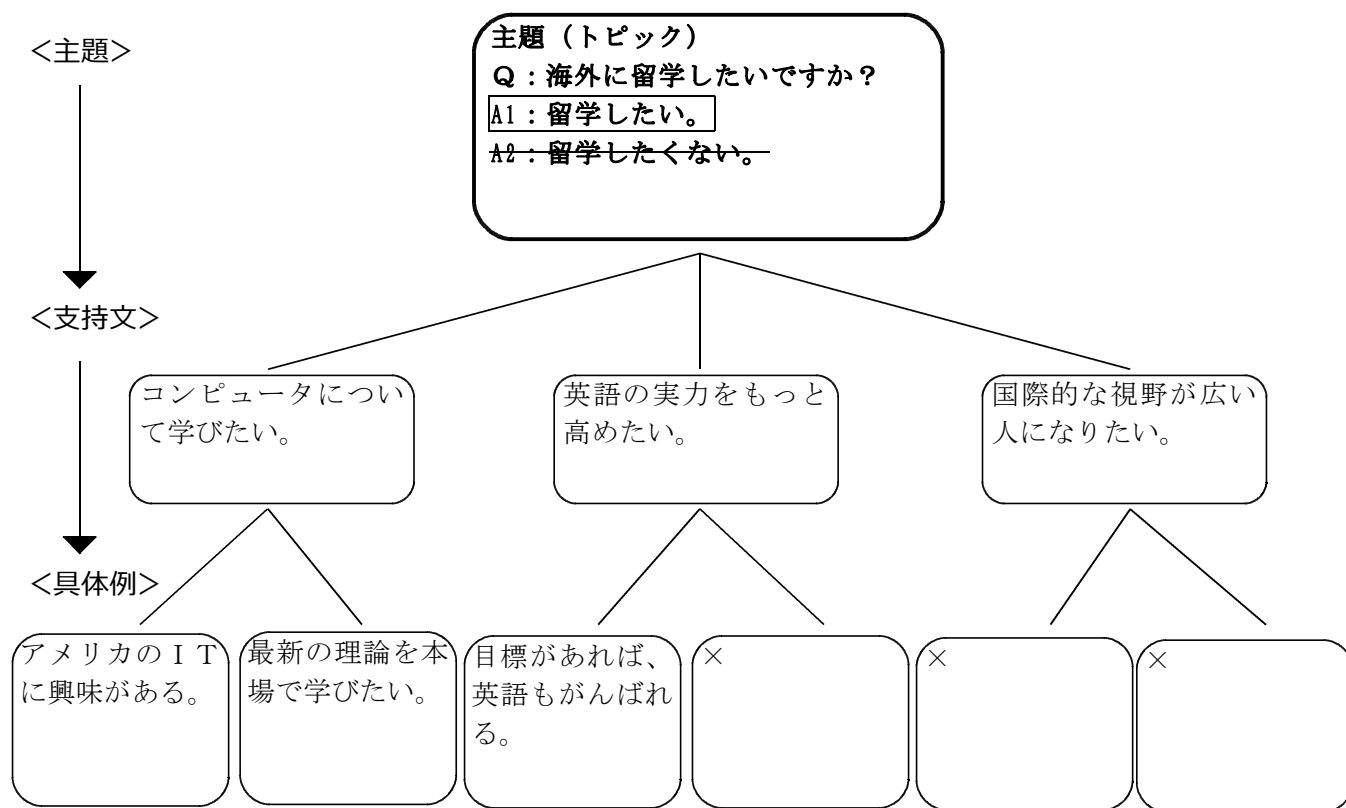
- (1) アイディアを生み出す ※手順理解のために、日本語で記載しています。

何について書くかを考え、その主題（トピック）に関係のあるキーワードやアイディアを思いつくままに以下のような図（マインドマップといいます）にメモし、発展させていきます。その上で、どのアイディアを利用するかを決めます。数人のグループで自由に思いついたアイディアを出し合うことも効果的です。他の人のアイディアに触発されて、さまざまなアイディアが思いつきます。この作業をブレインストーミングといいます。



(2) アイディアをまとめる ※手順理解のために、日本語で記載しています。

書こうとする主題を一番上に置き、その下に、ブレーストーミングで出たアイディア群から主題を支えるアイディアを選び、置いていきます。このピラミッドの形が完成すると文章の構成がはっきりしてきます。



※ここには具体例の他、支持文と関連があることを列挙するのもよいでしょう。

(3) アウトラインを作る

中心となる考えを、主題文として書きます。それから、主題文の裏付けをするのに必要な支持文を複数、箇条書きにします。今回は、理由の数を2つに限定します。以下の書き方で練習しましょう。

第1文 → 主題文：“～”（自分の意見）

第2文 → つなぎ：“There are two reasons for this.”（理由がいくつあるか提示）

第3文 → 支持文：“First, ～”（1つ目の理由（及び具体例など））

第4文 → 支持文：“Second, ～”（2つ目の理由（及び具体例など））

第5文 → 結び文：“For these reasons, ～”（まとめ：主題文の形を少し変えて表現）

※つなぎ言葉は他にもありますが、まずは、上記の表現を用いて自分の意見とその根拠を述べましょう。

(主題文) I want to study abroad after graduating from high school.

(つなぎ) There are two reasons for this.

(支持文) First, I am interested in IT and I think the best place to study

computers is in the USA.

(支持文) Second, I will study English much harder if I keep having this dream.

(結び文) For these reasons, I would really like to study abroad in the near future.

<<自分の意見とその根拠を書き上げるにあたってのチェックリスト>>

- ☐ 主題文に主題が明確に示されており、無関係なことが書かれていないか。
- ☐ 支持文に説得力があるか。支持文に無関係なことが書かれていないか。
- ☐ つなぎ言葉 (There are two reasons for this. / First, / Second, / For these reasons, ) が適切につかわれているか。
- ☐ 結び文は、主題文や支持文との関連が十分にあるか。(主題文と少し形を変えて書いてみましょう。)
- ☐ 文法の誤りや綴りの誤りはないか、句読法は適切か。

**※ここまでできれば、今回の目標は達成です。以下、複数の段落からなる随筆の書き方です。**

#### (4) 下書きを書く

アウトラインをもとに、段落の形にして下書きを作成します。この段階では、文法的な正確さよりも論理的な一貫性を重視します。

#### (5) 書き直す

下書きをもとに、主題が読み手に効果的に伝わるように、加筆・修正します。文と文との関係をはっきりさせるために、適切なつなぎ言葉を加えます。また、この段階でパラグラフ全体をまとめるための結びの文を考えます。

#### (6) 段落を完成させる

段落の内容の一貫性を確認し、必要があればさらに加筆・修正します。また、文法、綴り、句読法に誤りがないか確認します。

3 以下の主題（トピック）から1つ選び、自分の意見とその根拠2つを書きましょう！

※なお、次ページには空欄のマインドマップがあります。是非、活用してください。

○ TOPIC 1 海外で勉強したいか、したくないか。

Q: Do you want to study abroad?

○ TOPIC 2 朝食として食べたいのはご飯か、パンか。

Q: Which do you want to eat for breakfast, rice or bread?

○ TOPIC 3 高校の昼食はお弁当がいいか、給食がいいか。

Q: Which do you want to eat at school, a packed lunch or a school lunch?

○ TOPIC 4 単語の意味を調べるのに必要なのは辞書か、電子辞書か。

Q: Which do you think is necessary to look up a word, a paper-based dictionary or an electronic dictionary?

○ TOPIC 5 高校生に英語の勉強は必要か、不必要か。

Q: Do you think high school students need to study English?

○ TOPIC 6 学校に制服は必要か、不必要か。

Q: Do you think we should wear school uniforms?

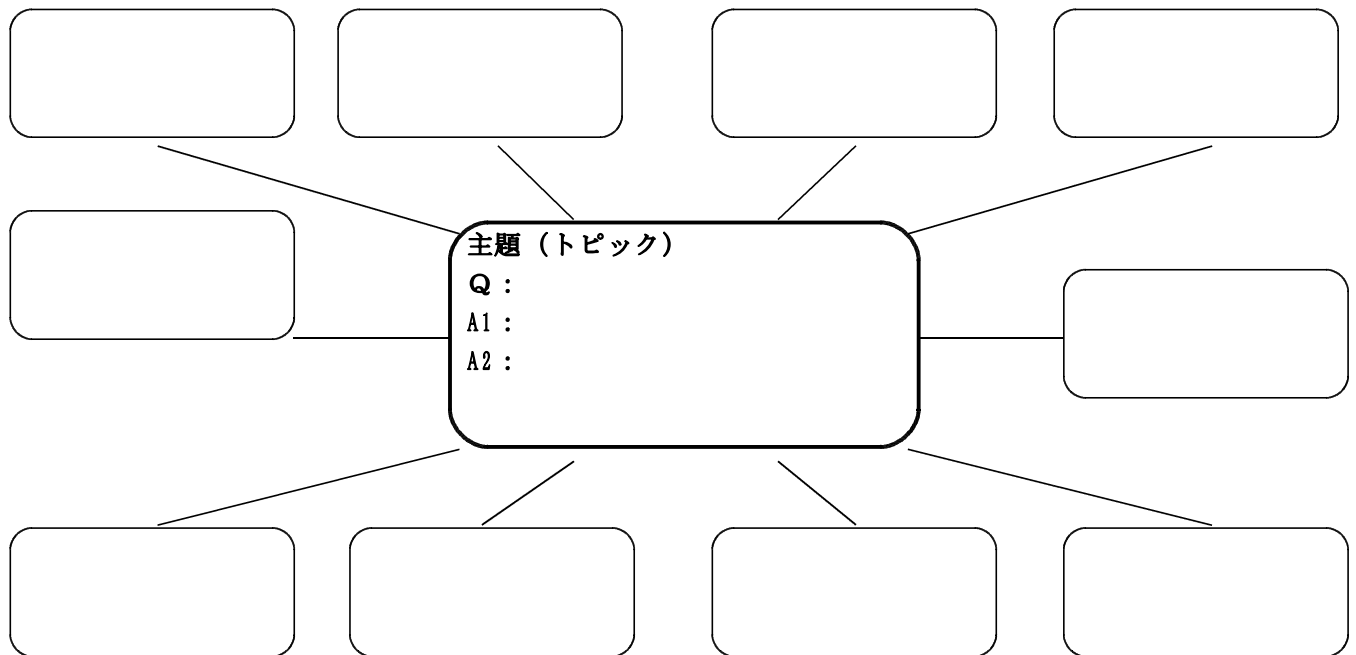
○ TOPIC 7 高校卒業後、進学したいか、就職したいか。

Q: Do you want to go on to college or get a job after graduating high school?

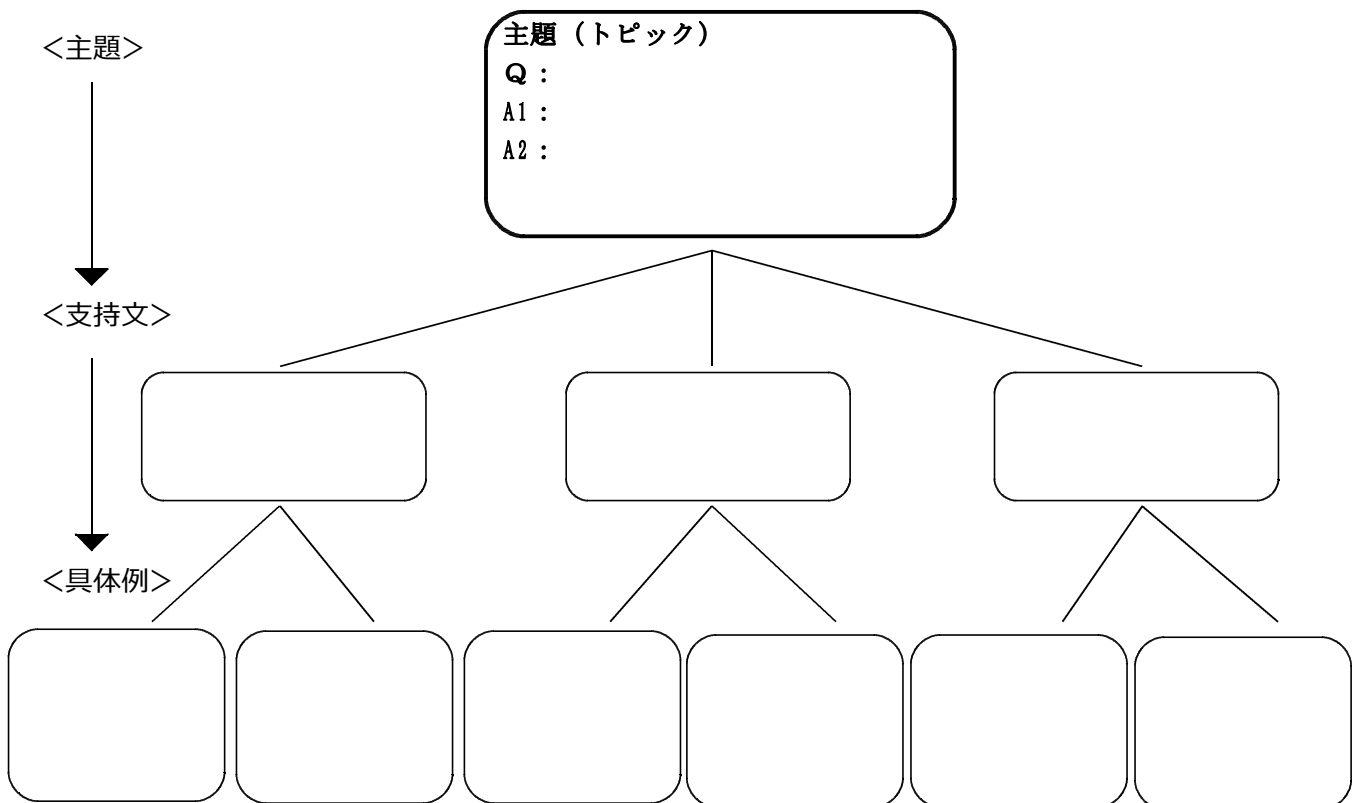
※上記以外にも、学校または学級独自の主題（トピック）について積極的に書いてみましょう。

4 マインドマップを利用して、自分の意見とその理由（2つ）を書いてみましょう。

(1) アイディアを生み出す



(2) アイディアをまとめる



※ここには具体例の他、支持文と関連があることを列挙するのもよいでしょう。



(3) アウトラインを作る

“( )”  
“There are two reasons for this.”  
“First, ( )”  
“Second, ( )”  
“For these reasons,( )”

**【参考 1】 文を書くにあたって**

「[誰・何]が、どのような[動作をする・状態である]のか」、を伝えるのが文の役割なので、文には最低限、**主語**と**述語動詞**（以下、便宜上「動詞」と書きます）が必要です。

また、動詞の使い方には以下の基本ルールがあります。

- ・ 三単現のS
- ・ 過去形
- ・ 助動詞は動詞の原形とセットで使う
- ・ 進行形はbe動詞 + ~ing（現在分詞）
- ・ 受動態はbe動詞 + ~ed（過去分詞）
- ・ 完了形はhave/has/had + ~ed（過去分詞）
- ・ be動詞と一般動詞は一緒に使えない。
- ・ be動詞は形容詞や名詞、前置詞句とセットで使う  
(→形容詞のみで、述語（動詞）の役割を果たすことはできません)

ですから、次のようなものは正しい文とは見なされません。

**【誤】**

- \*He sometimes play tennis.
- \*She play tennis yesterday.
- \*He can soccer.
- \*I playing tennis now.
- \*English spoken in Canada.
- \*I visited Kyoto three times.
- \*She is like cats.
- \*He at home.
- \*I happied.

※その他の動詞の使い方の誤り

- \*I was stolen my wallet.
- \*We are teached English.

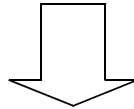
**【正】**

- He sometimes plays tennis.
- She played tennis yesterday.
- He can play soccer.
- I am playing tennis now.
- English is spoken in Canada.
- I have visited Kyoto three times.
- She likes cats.
- He is at home.
- I was happy.
- I had my wallet stolen.
- We are taught English.

## 【参考2】語数制限等に対応する方法

試験によっては語数制限がある場合があります。例えば、つなぎ言葉は以下の表現で代用可能です。

I want to study abroad after graduating from high school. There are two reasons for this. First, I am interested in IT and I think the best place to study computers is in the USA. Second, I will study English much harder if I keep having this dream. For these reasons, I would really like to study abroad in the near future. (変更前 → 62語)



I want to study abroad after graduating from high school. I have two reasons. First, I am interested in IT and I think the best place to study computers is in the USA. Second, I will study English much harder if I keep having this dream. That's why I would really like to study abroad in the near future.

このように、つなぎ言葉の変更のみで若干の語数削減が可能です。(変更後 → 59語)

### 1 複数の段落からなる随筆における主題文とつなぎ言葉の確認

※こちらの教材は応用編です。

次の英文における下線部が各段落の主題文です。なお、つなぎ言葉は四角で囲っています。

Have you ever thought about studying abroad? I would really like to study abroad after graduating from high school. There are three reasons for this.

First of all, I am interested in Information Technology and I think the best place to study computer science is in the United States of America. Actually, I know that we can learn many things about computers in Japan as well. Besides, I have thought about going to a university which has the department of computer science. However, I also know that more than eighty percent of scientific papers are written in English these days. I think I should study computer science in the country where the latest theories are taught.

Second, I think I will study English much harder if I keep having this dream. When I was a junior high school student, I came to like using computers but I didn't know what I wanted to be. After entering high school, I started thinking about becoming a computer programmer. I learned that I should be good at mathematics and English to study programming languages. Math has been my favorite subject and it will be forever but my English is not good enough to study abroad yet. Now that I have a dream to study abroad, my motivation for studying English will last for a long time.

Finally, I do believe that the experience of studying abroad will surely broaden my view to see the world differently in a good way. Of course I know it is not easy to live alone in a country where Japanese is not spoken. Maybe I don't have to worry about my daily life so much, as long as I live in Japan. On the other hand, I also know that we learn most from the experience of making mistakes. We tend to learn the most after going through a hard time. I think I will be able to appreciate the real warmth of sunshine after the storm with the experience of studying abroad.

For these reasons, like the best place to study computers, the motive to study English, and the personal growth through the experience of studying abroad, I would really like to study abroad in the near future.

<上記英文の要約>

(1) 筆者の意見
<u>I would really like to study abroad after graduating from high school.</u>
(2) そう考える理由がいくつあるか提示
<u>There are three reasons for this.</u>
(3) 1つめの理由(及び具体例など)
<u>First of all, I am interested in IT and I think the best place to study computer science is in the USA.</u>
(4) 2つめの理由(及び具体例など)
<u>Second, I think I will study English much harder if I keep having this dream.</u>
(5) 3つめの理由(及び具体例など)
<u>Finally, I believe that studying abroad will broaden my view to see the world differently in a good way.</u>
(6) まとめ
<u>For these reasons, I would really like to study abroad in the near future.</u>

## 6 解説

この英文は、体験や読書などから得た知識をもとに筆者の主張が主観的に書かれた文章、つまり随筆です。英文で随筆を書く際には、段落の構成に基本的な決まりがあり、原則として「序論」「本論」「結論」の順に書かれています。なお、この考え方は論説にも適応されます。

<随筆の構造>

- ① 序論：主題を導入する文（読者に疑問を投げかける疑問文など）と随筆の主題が書かれます。なお、段落の終りには結び文（本論の展開を予感させる文）が書かれます。
- ② 本論：序論で書いた主題について、読み手によく分かるように、論拠を具体的に説明します。一般的に、主題に関する説明は複数あるので、通常2～4の段落で構成します。
- ③ 結論：序論で述べた主題を別の表現で書いたり、本論で展開している説明の要約を書いたりします。

次に、本論における各段落の構成について考察します。随筆の構造で説明した通り、序論には随筆の主題が1つ、結論には随筆の主題が別の表現で1つ書かれているのに対し、本論には、主題の正当性を論理的に裏付ける意見や主張が複数書かれています。なお、本論における段落の構造は次の通りです。

#### <本論における段落の構造>

①主題文：読み手に話題を提供する文

※主題（中心となる考え＝main idea）を1つにして、はっきりとした内容にする。

②支持文：主題文を具体的に説明する文

※主題文と関係のある内容にする。

③結び文：パラグラフの最後で主題文の内容を別の表現を使って言い換えたり、支持文の内容をまとめたり、自分の意見・感想を述べたりする。

それでは、段落を構成する文をどのように書き連ねると論理的な文章になるのでしょうか。ここでは、主に上記英文の本論に出てきた各段落を少しだけ書き換えて例示します。また、そこには出てこなかった書き方については、初見の英文を掲載して説明します。

#### <段落の典型的な書き方>

※以下、下線部が主題文、点線部が結び文です。なお、文頭の副詞表現が前後関係を読み解く鍵です。

（1）意見・主張とその根拠を述べる

I am interested in Information Technology and I think the best place to study computer science is in the United States of America. Actually, I know that we can learn many things about computers in Japan as well. Besides, I have thought about going to a university which has a department of computer science. However, I also know that more than eighty percent of scientific papers are written in English these days. I think I should study computer science in the country where the latest theories are taught.

この英文は、著者がアメリカでコンピュータ工学の勉強をしたいという主張を述べています。日本の大学などでも学べるこの分野をなぜ留学して学ぼうとしているのか、英語で発表される論文の割合を根拠として述べることで、最新の理論を学ぶにはアメリカ留学が適しているという意見を述べています。このように、データの提示や一般論を引き合いに出すことで著者の主張に正当性を持たせる手法がよく使われます。

（2）順序立てて述べる（時系列・段取り）

I think I will study English much harder if I have a dream to study abroad. When I was a junior high school student, I came to like using computers but I

didn't know what I wanted to be. After entering high school, I started thinking about becoming a computer programmer. I learned that I should be good at mathematics and English to study programming languages. Math has been my favorite subject and it will be forever but my English is not good enough to study abroad yet. Now that I have a dream to study abroad, my motivation for studying English will last for a long time.

こちらの英文は、留学するという夢があれば、もっと熱心に英語を勉強するということを主張しています。まずは中学校時代を振り返り、コンピュータを使うのが好きになったことや将来の夢が決まっていなかったことを述べています。高校入学後には、プログラマーになりたいと思うようになり、そのためには数学と英語が得意であるべきだということを学びました。現在は留学するという目標を持っており、これからも英語を学ぶ動機が長く続くであろうというまとめで締めくくっています。このように時間の流れに沿ってそのときどきの行動や思考を表現すると、著者の思考がどのように変遷してきたのかを読者が理解しやすくなります。

### (3) 具体例を加えて述べる (例示)

It is not easy for anyone to live alone in a country where his or her mother tongue is not spoken. For example, here is a situation that you go overseas as an exchange student; the first thing you have to do is to get to the school, to find the place to live in, and to find some places to eat. Maybe you will find the coordinator at the airport who is willing to help you out. This person, however, is less likely to speak your native language. Therefore, you should at least be able to express your needs and feelings in other languages such as English. Otherwise, even the volunteer cannot figure out what you want.

母国語が話されていない国で生活するのは簡単ではないことについて、留学生として海外に行くという状況を具体的に例示することで、その困難さを表現しています。“For example”や“such as”の後ろには具体例が記載されます。また、セミコロン（；）の後ろには具体的な記述が続きます。留学先の空港に到着すると、まずは学校へ移動し、入校・入寮などの手続きをします。その間にもお食事をしなければなりません。空港まで迎えに来てくれることが一般的ではありますが、そのときどきで必要なことや場合によっては感情を外国語で適切に表現することが求められます。この段落においては、具体例の列挙後に著者の主張が書かれています。

### (4) 類似点・相違点を述べる (対比)

I do believe that the experience of studying abroad will surely broaden my view to see the world differently in a good way. Of course I know it is not easy to live alone in a country where Japanese is not spoken. Maybe I don't have to worry about my daily life so much, as long as I live in Japan. On the other hand, I also know that we learn most from the experience of making mistakes. We tend

to learn a lot after going through a hard time. I think I will be able to appreciate the real warmth of sunshine after the storm with the experience of studying abroad.

ここでは、留学経験を通して物事をこれまでとは違った角度から見つめられるようになるということが肯定的に述べられています。前段では、留学時には様々な困難がつきまとい、日本に暮していれば感じることがないようなストレスに悩まされる可能性が言及されています。一方で、失敗から学ぶことがいかに多いかや苦しい経験を乗り越えてこそ、たくさんのことが学べるということが後段に書かれています。まとめとして、これまで当たり前のこととして何も感じなかったことにさえ、感謝できるようになるのではないかという意見が述べられています。この英文は抽象的な内容ばかりが記載されているためとても読みにくいです。抽象的な内容を理解してもらおうと思ったら、上記（３）のように具体例を加えることで、読者が理解しやすくなります。

#### （５）原因と結果を述べる（因果関係）

I have just decided to go to America to study computer science. While writing this essay, I tried to think of the reasonable explanations of why I shouldn't study abroad as well but there were not so many of them. On the contrary, I found it necessary for me to study abroad in the near future. There are three reasons for this. First, I am really interested in Information Technology and I think the best place to study computers is in the USA for sure. There I can learn the latest theories. Second, I will study English much harder if I keep having this dream to study abroad. Thinking about the future, which is hard to foresee, many Japanese should have experience of studying abroad using English as a communication tool. Now I really want to be the one of them. Finally, I do believe that the experience of studying abroad will surely broaden my view to see the world differently in a good way. I think I will be able to appreciate the real warmth of sunshine after the storm with the experience of studying abroad. For these reasons, I decided to go to America to study computer science soon after graduating from high school.

これまで留学したいという希望について述べてきた著者が、ついにアメリカ留学を決意しました。論説や討論でよく使われる手法である反対意見に対する反論を試みた著者ですが、そもそも筋の通った反対意見を思いつくことができなかったということを告白しています。それどころか、海外留学の必要性を実感するようになったと言っています。以下、そのように考えるに至った３つの理由を述べています。１つには、著者がアメリカでコンピュータ工学の勉強をしたいという主張と最新の理論を学ぶにはアメリカ留学が適しているという意見が書かれています。２つめには、留学するという夢があれば、もっと熱心に英語を勉強するということを主

張しています。先を見通すことが困難な時代において、英語をコミュニケーションの手段として用い、世界で活躍することができる日本人の1人になりたいと考えています。3つめには、留学経験を通して物事をこれまでとは違った角度から見つめられるようになるということが肯定的に述べられています。異文化圏において本当の自分と対峙した後には、より多面的に物事をとらえられるようになるのではないかと考えています。この著者は、高校卒業後にアメリカの大学に学部留学し、コンピュータ工学を学ぶことに決めたというまとめで締めくくっています。

これまで段落の典型的な書き方として(1)意見・主張(2)時系列・段取り(3)例示(4)対比(5)因果関係、という5つの型について確認しました。それぞれの書き方により構成される段落が有機的に結びつき、随筆や論説といった文章が成り立っています。また、各段落の主題だけをまとめると、随筆の要約が書けるのです。このライティング教材で求めているのは、随筆の要約と同程度の書く力です。

このことを理解した上で、再度、自分の意見を的確かつ簡潔に述べる練習をしましょう。与えられた話題に対する自分の意見を分かりやすい表現を用いて書くことが大切です。また、その理由を2つ考えてみましょう。誰が読んでも論理的におかしくないと思える理由を書きましょう。

- (1) **主題文**：自分の意見 → ※与えられた話題によって答え方が変わります。
- (2) **つなぎ**：そう考える理由がいくつあるか提示 → “There are two reasons for this.”
- (3) **支持文**：1つ目の理由（及び具体例など）→ “First, ~”
- (4) **支持文**：2つ目の理由（及び具体例など）→ “Second, ~”
- (5) **結び文**：まとめ → “For these reasons, ~”

※最後に、段落の典型的な書き方を参考にして、主題文とつなぎで1段落、支持文1つにつき1段落、まとめで1段落の随筆を書いてみましょう。自分が書いた英文をアウトラインとして使用しましょう。

## Work Sheet Speaking Section

【テーマ】自分の考えを述べるときの表現を覚えよう！

問 1 下記の表の空欄①～⑤にあてはまる表現を語群から選び、表を完成させなさい。

	<i>Japanese</i>	<i>English</i>
<b>序論</b> ( <i>Topic</i> )	私は～に賛成です。	①
	私は～に反対です。	②
<b>本論</b> ( <i>Supporting details</i> )	理由は2つあります。	③
	1つ目に～	④
	2つ目に～	⑤
<b>結論</b> ( <i>Conclusion</i> )	結論として～	⑥

ア There are 2 reasons.

イ In conclusion, ～

ウ First, ～

エ I agree to ～

オ Second, ～

カ I disagree to ～

問 2 以下の質問に対して、上記の表現を用いて自分の考えを書きなさい。

“ Do you think students should join in afterschool club at school ? ”

<b>Topic</b>	
<b>Supporting details①</b>	
<b>Supporting details②</b>	
<b>Supporting details③</b>	
<b>Conclusion</b>	